

北國こども新聞



2
45
7

W7系とご対面
ケロロ軍曹 北陸大作戦!
中学生の背中見て成長

KODOMO SHIMBUN



もうすぐ「新幹線」! 増える外国人をおもてなし

外国人の先生(左)から英語のレッスンを受ける従業員
—金沢市駅西新町3丁目



海鮮料理の食べ方を外国語で紹介した紙を見せる中里さん
—金沢市青草町

回転寿司の「金沢まいもん寿司」などを展開するエムアンドケイ(金沢市)は昨年10月から、すし職人ら従業員向けの英会話教室を始めました。朝の開店前の店内で従業員が外国人の先生から

開店前に教室

3月14日の北陸新幹線金沢開業で外国人客の増加が予想される中、金沢市内の飲食店などが英語の研修に力を入れています。英語を話せるようになれば、日本文化に関心の高い外国人に、文化の詰まった金沢の魅力をより深く知ってもらうことができ、自分の言葉で分かりやすく伝えられるようにして、外国人客のおもてなしに生かします。

すし職人も 飲食店員も 英語猛勉強



北陸新幹線
金沢開業あと

63日

「この魚は朝まで泳いでいました」などと、鮮度やおすずめのネタを説明する表現を学んでいます。金沢百番街「あん」とある金沢駅店には、1日に1、2組の外国人客が訪れるそうで、店には英語、韓国語、中国語のメニューがありますが、「すしをより楽しんでもらうには、店員が直接説明することが欠かせない」(担当者)として教室を始めたそうです。

食べ方を紙に

近江町市場も外国人に人

気の高い場所です。近江町いちば館2階の旬彩和食「口福」では、英語を話せる従業員と中国人アルバイトが1人ずつ働いており、外国人客に対応しています。中里知店主は「日本料理は説明がないと十分に楽しめない部分もある」と言い、名物の海鮮ひつまぶしの食べ方を英語で説明した紙を用意したところ、好評だそう。政府観光局によると昨年1年間に日本を訪れた外国人旅行者は1300万人を超えました。みなさんが学んでいる英語も、外国人のおもてなしに役立ちます。道を教えてあげたり、あいさつをできるようにになって、金沢、そして石川県はすてきなところだと思ってもらえるといいですね。